

松嶋夜話 卷之下 20

〔原文〕適把傳燈錄讀馬祖下龍山和尚章

〔訓読〕適たま傳燈錄を把りて、馬祖の下の龍山和尚の章を讀む

※馬祖道一（ばそどういつ）…中国の唐代の禅僧。諡は大寂禅師。俗姓は馬。漢州什邡県の出身。

馬祖は、後世の禅僧の名に見られる道号などとは異なり、道一の俗姓である馬氏によるもの。

〔原文〕師爲洞山見問因有頌曰

〔訓読〕師、洞山の為に問わせしめ、因りて頌有りて曰く

〔原文〕三間茆屋從來住

〔訓読〕三間茆屋從來住む

〔原文〕一道神光萬境閑

〔訓読〕一道の神光、萬境閑なり

〔原文〕莫作是非來辨我

〔訓読〕是非を作し來りて我を辨ずること莫れ

〔原文〕浮生穿鑿不相關

〔訓読〕浮生穿鑿し、相ひ關せず

〔原文〕余曰自非了藏身處沒蹤跡

〔訓読〕

※沒蹤跡（もっしょうせき）…禅語。足跡を残さないということ

※この文、訓読できません

〔原文〕焉能得萬境閑

〔訓読〕焉んぞ能く萬境の閑なるを得んや

〔原文〕三間茆屋從來住

〔訓読〕三間茆屋從來住む

〔原文〕意旨何乎

〔訓読〕意旨何ぞや

〔原文〕待兩箇泥牛闘入海

〔訓読〕兩箇の泥牛闘いて海に入るを待つて

〔原文〕向子道僧休去

〔訓読〕子に向かいて道ふ、僧休み去る